

麻しん風しん混合（MR）

☆麻しん・風しんは、それぞれのウイルスを口や鼻から吸いこむことで感染する病気です。うつりやすい病気で、一人がかかると、家族やまわりの人たちに広がってしまうこともあります。

☆麻しん（M）は感染力が強く、重症化しやすい病気です。免疫がないとほぼ100%発症します。まれに重くなると命にかかわる方もいます。ワクチン接種が感染を防ぐただ一つの方法です。

※妊娠中に麻しんにかかると、流産や早産などの問題をおこすことがあります。

☆風しん（R）にかかると、熱がでたり、ぶつぶつがでたりします。

※妊娠中に風しんにかかると、胎児に感染し、耳が聞こえにくい、目が見えにくい、生まれつき心臓に障害がある、発達がゆっくりしているなど「先天性風しん症候群」にかかってしまうことがあります。

☆麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種することで、体のなかに麻しん・風しんへの抵抗力（免疫）ができます。

☆このワクチンは1歳になってからと、小学校入学前1年間（いわゆる年長児）の2回接種します。

☆麻しん風しん混合ワクチン（MRワクチン）は生ワクチンです。

■予防接種の受け方

いつ受けるの？

- | | |
|----|--|
| 1期 | 接種年齢 1歳以上2歳未満 |
| 2期 | 接種年齢 5歳以上7歳未満で小学校入学前の1年間（4/1～3/31）
（年度内に6歳になる者。いわゆる年長児） |

持っていくものは？

母子健康手帳、麻しん風しん混合予防接種予診票、子ども医療費受給資格者証など

どこで？

福島市登録医療機関に予約してください

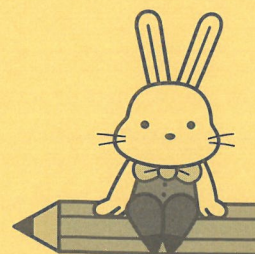
回数は？

- | | |
|----|----|
| 1期 | 1回 |
| 2期 | 1回 |

※合計2回の接種を忘れないようにしましょう。

■おこるかもしれない体の変化（副反応）

- 麻しん・風しん混合ワクチン（MRワクチン）を接種した後、熱がでたり、ぶつぶつがでたりすることがあります。また、接種個所が赤くなったり、はれたりすることがあります。
- きわめてまれに、アナフィラキシー（急激なアレルギー反応）やけいれん、血小板減少性紫斑病（かさぶたをつくる働きの血小板が少なくなると、出血しやすくなる）、脳炎などの重い症状があらわれることがあります。



○予防接種を受けた後、気になる症状や体調の変化があらわれたら、すぐに接種医に相談してください。